



校長室だより

岡山県健康の森学園支援学校
令和5年5月8日発行

新しいなかまとともに、学習がスタートしました。

新しく、新転入生24名を迎えてスタートした令和5年度が始まって1ヶ月経ちました。5月を迎え、健康の森は、木々のやわらかな緑色につつまれ、気持ちのよい季節を迎えています。健康の森学園の学園章にもある「すずらん」が学園内のあちらこちらで、かわいらしい花を咲かせています。また、つどいの広場では五月晴れの空にこいのぼりが元気に泳いでいます。



◆ 健康の森ならではの4つの強みを生かした教育

寄宿舎と学校との24時間教育



本校では、約9割が寄宿舎に入舎しています。始業式・入学式の日から寄宿舎生活が始まります。特に、新入生にとっては、初めて家から1人離れての宿泊生活であり、不安やさみしさでいっぱいだろうと思われ、生活に慣れてくれるか心配をしていました。けれども、優しい友達や先輩、先生方の支えもあり、皆さん比較的早く生活に慣れ、今では楽しく元気に過ごしています。今年は、小学部1年生も3名おり、先輩となる子ども達が食事や生活の様子を心配そうに見守っていました。必要な時には手助けもしてくれています。このような姿をみると微笑ましくもあり、子ども達同士の関わり合いの中で、相手を思いやる心や相手を受け入れること、また一緒に取り組むことなどの力を身に付けていくのだなと思います。小学部1年生から高等部3年生までが共に生活する寄宿舎。家庭での生活では、接することのない異学年の子ども達が共に生活することの良さをしっかりと感じる寄宿舎での様子です。

広大な自然・学園内の連携

4月21日（金）に学園全体の行事、ふれあいオリエンテーリングがありました。健康の森学園の支援学校と障害者支援施設の園生・職員全員が、12のグループに分かれて、健康の森の中を散策しました。グループのメンバーは、小学部・中学部・高等部・施設の園生・職員が縦割りで編成されています。初めに、グループで自己紹介をして出発です。グループリーダーの施設園生を中心に、農産班、畜産班、林産班の作業場や森の中を散策しました。休憩は、芝生広場で、ボール遊びをしたり、お話をしたりしました。

これから学園では、田植え祭り、運動会、収穫祭と作品展、マラソン大会、学習発表会とたくさんの行事があります。また、授業でも学校と施設の園生と一緒に活動することがあります。この出会いをきっかけに、互いに挨拶を交わし、声を掛け合い、仲良く活動を盛り上げていってくれることと思います。

